

がん薬物療法専門医コラム 第17回

皆様、こんにちは。

病院広報誌のほっとらいんに『免疫チェックポイント阻害剤』について解説をかきました。併せて12月7日に当院のみんなのがん教室において、『オプジーボを中心とした免疫チェックポイント阻害剤』について、各領域のご専門の先生方にそれぞれについて概説してまいりますので、是非出席していただけたらと思います。


さて、がん診療のさらなる発展のためにいろいろ取り組みをしていますが、『がん教育』というものに大変関心をもっています。

11月16日長野県主催の学校におけるがん教育についての講習会に参加してきましたので、そのことについて今回は書きたいと思います。



講習会が行われた、塩尻にある長野県総合教育センターからみた風景。

最近国が発表した、がん診療のこれからの道筋をしめしたもののなかで、小学校から学校で、子供にがん教育を行っていこうというのが、大きくクローズアップされています。これまで限られた学校で先取りする形でがん教育が行われてきましたが、本格的にどこでも行われるようになっていきます。それにおける、配慮やノウハウ等を、小学校から高校までの学校の先生と私どものような医療関係者、実際のがん経験者の方達が集まってグループワークをしながら学んで、各職場に持ち帰って進めていこうという趣旨だったように思います。



学校の先生は、養護の先生が多かったように思いますが、普段、学校の先生方と自分の子供の事以外で話すことはほとんどなかったので、貴重な現場の話を聞くことができ、さらにLINEで友達にさせていただいたことは大きな収穫でした。

がん教育の領域で、ご高名な助友先生のご講演はなるほどと思いましたが、冒頭での直接がん教育とは関係のない、次のようなお話が私の心には一番残りました。

先生はこんなクイズを出されました。

Q 日本人の平均寿命を80歳として、この80年というものを秒数になおしたときの数字と、現在の世界人口とどちらの数が大きいですでしょうか？

A 普通に計算すると、 $80 \times 365 \times 24 \times 60 \times 60 = 2,522,880,000 \rightarrow$  約25億秒 となります。

世界人口は 74億3000万人台です。

従って、答えは、現在の世界人口の方が多ということになります。

ここで、助友先生は、1秒に1人ずつ、新しい人と知り合いになっても生きている間に、世界の全ての人と知り合いになることは不可能であり、こうして知り合えた出会いは特別なことで、それを大切にしましょうと話されました。

すんなり頭に入るお話で、これまで以上に偶然の出会いを大切に、この講習会で知り合えた方々とのつながりを大切に、がん教育にも携わりたいと思いました。

では、また。